

ス・ユ・ニ・日・中

版 コ ス シ

新報 = 2-2 No. 410

新報 = 2-2 No. 238

No. 575

1940. 1. 22

一、墨ぬり祭り

—新 潟

ここは新潟県の豪雪地帯。また越後三名湯の一つとしても知られている東頸郡松之山町湯本部落。

九十八度という高温のお湯がふき出し胃腸病にきくとあって夏は近郷近在の人達でにぎわいを見せています。しかし冬ともなれば四メートルの積雪のため訪ずれる人もなく長い越冬生活に入るので。

だが雪国の農山村にはいまでも小正月の行事に「墨塗」の祭りがあります。

ここでは「賽の神」と呼び子供達にとっては楽しい冬の行事。

お正月の門松やしめかざり、書き初めなどを燃やしゆく正月をおしみ今年一年間の無事を祈念するのです。

そしてついで顔を雪にかかして「すみ」を作り顔に塗るとその一年間無病、息災、家内安全とあってお互いに顔が真黒になるまで「すみ」を塗りあい新年を祝いあいます。

子供にとっても大人にとっても楽しい雪国の墨塗りの祭りです。

カメラ・スケッチ

一、新春美容さまざま

銀座は伊達男のメッカ。行き交う若人は申し合わせたようにイスカ・スタイル。カッコイイコト、カッコイイコト……!!

そもそもオシャレとは女性の独壇場である……など大見栄を切るもんなら大問題……。

何も女性に限るといふ法則はないんだぜ……とばかり男子化粧品が巷に溢れて、男子専科の美容室も登場お客さんは後を絶たない繁昌ぶり。

鏡の前に悠然と構へれば眠気を催す夢の世界。今様ヴァレンチノたらんと、「泥ンコ」だらうが何だらうが任せっ切りです。洗顔百態……辛棒辛棒。仕上げマニキュアでべめて四干円也とか。

一方、当世は気抜なものが大流行。ハレムのムードを純金風呂でと浸りにくる人もチラホラ。人間一度は王様気分……。だが入浴二分リミットで壱千円と値も気抜です。

男性がいい気になってシャレ込むの図に頭に来たのが本家本元の女性群。

「ヘア・ドレス」なる気難しいものが流行出しました。何だカッラじゃないかと一笑に付すと大間違い以外と好評でデパートは頭にきた若い娘で大賑い。鏡とニラメッコでああでもないこうでもないとあたら純毛を忘れてるよう。だがこれは序ノ口。

美容院に通いつめるカッラマニア？
中身は待合室で頭は美容師の手も何とも無気味な世の中とあいなつたものです。

363

269

6327

制作・配給

中 日 新 聞
北 陸 中 日 新 聞

東 京 中 日 新 聞
中 日 映 画 社